

利用農家の要望意見

<活用の促進>

- ・講習会の充実
- ・仲間づくり
- ・情報交換
- ・成果の上がった事例紹介
- ・個別指導
- ・関係機関がリード
- ・サポート体制の充実



<システム等>

- ・乳牛コードの統一（関係機関）
- ・既存データの有効活用
- ・経営・乳牛管理の総合ソフト
- ・家族で使えるシンプルなもの
- ・入力データの省力化
- ・すぐわかるマニュアル
- ・情報の迅速な提供
- ・法人にも対応
- ・ソフト、ハードの変更が早すぎる



利用農家の総合的な感想

- ・これから益々パソコンを利用する機会が多くなっていくと思う
- ・経営管理には有効な武器。乳牛管理では即効性が大切
- ・インターネットで日本中、世界中との距離が無くなった
- ・情報管理や集計に無くてはならないもの
- ・あると便利、字を書かなくても良い、記録が残せる
- ・奥深いなあ～
- ・自作機や趣味への活用も楽しいよ



利用農家の事例 別海町 Y牧場

経営規模：乳牛120頭（うち経産牛65頭）

飼養方法：タイストール パソコン利用年数：7年

利用システム：繁殖管理、酪農簿記、ロータス（営農計画・免税軽油管理・生乳生産管理・飼料分析記録など）

<利用場面>

繁殖管理：NOSAIの繁殖検診の情報や、牛舎でメモした授精、発情、分娩等の情報を住宅に戻った時にパソコンに入力。発情の遅れている牛や分娩予定などをチェック

乳 検：根室生産連のモーモーネットで、データを受信し、Cowboyで牛群成績の動きや授精回数別分布、乳成分の要注意牛などを確認

インターネット：時の話題や牧草収穫時の気象など情報収集

簿 記：クミカンデータの仕訳はファイル転送、税申告まで一連の書類をパソコンで作成

各種シート：表計算ソフト（ロータス）を利用し、営農計画などに利用、フロッピーでJAに提出も有り

<良くなった事>

- ・記録、計算などが効率的になった、我が家の情報の管理に欠かせない
- ・繁殖の情報により、乳牛の状態が早期に把握でき、対策や計画的な更新ができています
- ・乳検情報の集計加工により、牛群の状態の確認がすぐできるようになった
- ・インターネットで欲しい情報が入手しやすくなった
- ・簿記や書類の作成が楽になった

<問題になった事>

- ・パソコンはスイッチを入れてから利用するまでに時間がかかる
- ・集中すると、深夜になり、寝不足になることがある